

ロテイ・イシ研究員（ブータン）

はじめまして。私はブータンから来ました、ロテイ・イシと申します。どうぞイシと呼んでください。私の国ブータンは、インドと中国に囲まれた人口 70 万人の小さな国です。ブータンでは、内務文化省の防災局というところで、主任技官補として働いています。



2 番目の母国と思える今回の日本での滞在では、桜を見たり、日本の文化や食事をとても楽しみにしています。私の最初のキャリアとしては、2006 年から 2010 年まで公共事業省で建築技師として働いていました。ここでは、地震に耐えられる様々な手法の建築について学び、私にとってとても貴重な経験となりました。これまで長きにわたり政府機関で働いているわけですが、災害管理、建築やデザイン、政策など多くの業務を経験してきました。

先ほど日本を 2 番目の母国と申し上げましたが、実は 2011 年から 2013 年の間、横浜国立大学で研究活動をしていました。そこで学び経験したことは、今でもとても深く印象に残っています。今回、改めて ADRC の客員研究員として 2015 年の 1 月から 4 月まで、防災に関する研究をできることになりました。具体的には、「日本とブータンにおける家屋の風水害被害に関する比較研究」について学びたいと思っています。

ブータンは、標高の高低差が大きく、地形的にも複雑で自然災害に脆弱な地域です。様々な自然災害が発生するわけですが、特に、2011 年から 2013 年に頻発した風水害においては、たくさんの建築物や倒壊し、莫大な経済的損失がありました。そこで、私が今回取り組む研究テーマが、ブータンの経済を災害から守り、家屋や歴史的建築物の崩壊を防ぐなど、風水害から被害を軽減させることに貢献できればと強く願います。